

六字城

ROKUJIJO

2021/1/1

No.674

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・武宮 信勝



謹賀新年

年頭御挨拶

天満別院輪番 武宮信勝

雲海の日の出（撮影者 西松 薫）

法要・行事予定

1月		2月	
1-3日	修正会 ※1日のみ ご法話：輪番 武宮 信勝 (8時)	2日	実如上人御祥月御命日 (8時)
4日	如信上人御祥月御命日 (8時)	6日	彰如上人御祥月御命日 (8時)
12日	闍如上人御速夜・常永代経 (14時)	8日	現如上人御祥月御命日 (8時)
13日	闍如上人御命日 兼日中 (8時)	12日	闍如上人御速夜・常永代経 (14時)
15日	嚴如上人御祥月御命日 (8時)	13日	闍如上人御命日 兼日中 (8時)
19日	覚如上人御祥月御命日 (8時)	22日	乘如上人 ・聖徳太子御祥月御命日 (8時)
24日	定例法話 (13時30分) 稲垣 洋信師 (第7組 長教寺住職) 『「悲」—自己を問う縁』	24日	定例法話 (13時30分) 今井 健太郎師 (第13組 常稱寺住職)
25日	法然上人御祥月御命日 (8時)	25日	善如上人御祥月御命日 (8時)
27日	宗祖聖人御速夜 (14時)	27日	宗祖聖人御速夜 (14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 ご法話：輪番 武宮 信勝 (8時)	28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話：輪番 武宮 信勝 (8時)

1月 中止行事のご案内

1月に予定しておりました行事の中で、左記の行事については、コロナウイルス感染拡大している状況を鑑み、ご来院の皆様のご健康と安全を慎重に考慮し、今年度は中止と致しました。何卒ご理解のほどよろしくお願い致します。

- ◆ 合唱団「みのり」 …… 16日
- ◆ 『正信偈』書写の会 …… 24日
- ◆ 新年会

今月の伝道掲示板

謹賀新年

何もかも
我一人のためなりき
今日一日の
いのち尊し

— 高原 憲 (医師) —

編集後記

先日、怖い夢をみた。大切な友人を失う夢。目が覚めた時、夢だと気づいて安堵し、無性に友人に会いたくなった。たいていの夢はすぐに忘れるが、この夢は、しばらく忘れそうにない。私は例年帰省しているが、今年は取止めた。ただこの夢を見てから、会える時に会うことの大切さを改めて感じた。この状況下で年末年始の過ごし方というのは、様々に悩まれたと思います。旧年中はお世話になりました。本年も宜しくお願い致します。(H)

勸修寺の道徳、明応二年正月一日に御前へまいりたるに、蓮如上人、おおせられそうろう。「道徳はいくつになるぞ。道徳、念仏申さるべし。……」

『蓮如上人御一代記問書』

コロナ禍でのお歳超え、いつもとは異なる複雑な気持ちで正月をお過ごしのことと拝察いたします。去る12月14日、日本漢字能力検定協会は、全国から募った「今年の漢字」を「密」と発表しました。感染防止の「三密」を避ける策が講じて、大切な人との関係が密接になつたという意味も加味されている。いづれにしても世界中の人がコロナと向き合いながら試行錯誤したことは間違いのない日々の事実である。

天満別院も、同朋の会・定例法話・合唱団「みのり」・諸会議等々ほとんどが「中止」の状態の中、報恩講・春秋彼岸会法要は時短を含め感染対応に注視しつつ、苦策のうえ勤めることができました。今寺院において、このように仏事が勤まるのが難しい状況にある中、寺報・オンライン・インターネットライブ配信が注目されています。

当院の寺報「六字城」は57年に亘り、編集を重ねて参りました。特に一昨年リニューアルし、写真もカラーにして、少しでも御門徒に寄り添い、身近な事を中心にと毎月職員が編集会議を重ねて発行します。更に皆様に親しんでいただけるよう精進してまいります。寺報は、一人でも多くの方に「阿弥陀仏のみ教え」をお伝えし、「御門徒とのつながりを深めたい」という願いの上に発行されます。

冒頭の問書の一文は、山科本願寺におられた蓮如上人79歳の正月1日に、勸修寺村の道徳という方が年頭のご挨拶に参詣した。老体の道徳に、唐突に年を尋ねた。そのお心は世の無常を思い知らせ、念仏申しなさいと諭すところから始まっている。べしと言われているところから、決して蓮如上人ご自身の命令ではなく、阿弥陀仏からの勅命として仰せになっているといたたくべきでありましょう。新年にあたり、阿弥陀仏が「念仏申さるべし」と我一人に呼びかけておられます。

おかげさまで創業120余年
あなたの街の石屋さん

株式会社 太田石材店

～仏事その他何なりとお気軽にご相談ください～

フリーダイヤル 0120-305-075

本社
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社

(株) 天満花重

〒530-0041
大阪市北区天神橋 3-4-6
電話 (06)-6351-3875
FAX (06)-6351-6260

新年の挨拶



天満別院責任役員
谷 康司

皆様、新年を迎えられおめでと
うございます。
現在は、天満別院にて責任役員
として榎屋義雄様、奥林曉様と大
役を仰せつかっております。その
責任の重さに浅学非才な私ではあ
りませんが、多少なりともお手伝い
が出来ればと思いい臨席をさせてい
ただいております。

天満別院としましては、財政上
の懸念もあり財政基盤の安定を図
るべく検討会が設けられておりま
す。やはり、その為には事業計画
を立案し行動を行わなければなり
ません。現在の様に複雑多岐に及
ぶ時期には、長期の計画も立てら
れず、私としては、短期の計画を
立て、フレキシブルな方向返還が
可能であり、その連続を継承して
行くのが大きな誤りを起こさない
のではないかと考えております。

在る物を如何に利用し、どの程
度の負担をするか、負荷を如何に
軽くするかが課題にあると思っ
ております。

今年が丑年です。子年に蒔いた
種が芽を出して成長する時期とさ
れています。丑には急がず目の前
の事を着実に進める事が将来の成
功に繋がるとも言われておりま
す。その様な期間ですので、是非
とも皆様のお知恵、ご経験等の情
報提供をお願い致しまして新年の
ご挨拶にかえさせていただきます。



天満別院門徒会会長
八十島 義郎

新年明けましておめでとござ
います。旧年中は門徒会活動にい
ろいろとご尽力賜り厚く御礼申し
あげます。昨年は、すべての行事
が中止になり大変厳しい一年でし
た。



晩秋は天満別院の銀杏の黄色い
葉と紅葉したイロハモミジ（門首
ご参修記念樹）が色づき見事でし
た。

また、昨年の十一月二十八日の
親鸞聖人の御正忌御命日の折、武
宮輪番の法話「おじいちゃんの涙
の正信偈」を聞きました。孫に「一
粒の米の中に仏さまがおられる」
と、常に言っていたので、顕微鏡
で見ようとしたが、「見えないじゃ
ないか。うそつきじいちゃん！」
とののしった時、孫の手を引きお
内仏の前に涙ながらのおつとめの
姿を二十歳になった時に、言わん
としたことが、ようやくうなずけ
たというお話は、心を打たれ念仏
の相続の偉大さに感動致しまし
た。皆さんと共に味わいたいと思
います。

今、本堂の前にはお朝事のお誘
いの立て看板に「安心立命」と書
かれた言葉があります。我が身の
生き方を見守られているように感
ぜられます。
今年、コロナが終息し穏やか
な一年になるよう願っています。



謹賀新年

◆責任役員

奥林 曉
榎屋 義雄
谷 康司

◆院議会議員

鷓鴣 律
越浦 龍成
村上 奈津子
長江 弘樹
辻岡 恵
宇野 善昭
八十島 義郎
幸田 晴夫
傍島 恭子
小糸 正洋

監事

洲崎 善範
西松 薫

◆門徒会

顧問 宇野 善昭
顧問 幸田 眞須美
会長 八十島 義郎
副会長 幸田 晴夫
副会長 傍島 恭子

2021年度（令和3年度）の年回表

年回	年回にあたる没年	年回	年回にあたる没年
1周忌	令和2年	(27回忌)	平成7年
3回忌	平成31年 令和元年	33回忌	昭和64年 平成元年
7回忌	平成27年	(37回忌)	昭和60年
13回忌	平成21年	50回忌	昭和47年
17回忌	平成17年	(70回忌)	昭和27年
(23回忌)	平成11年	100回忌	大正11年
25回忌	平成9年		

※ 23、27、37、70回忌につきましては、地域によってはお勤めされない場合も
ございます。

※ 年忌法要をお勤めになる際は、少し早めにご連絡いただきますようお願い致します。
ご相談等は寺務所までご連絡ください。

年忌法要・月忌参りについて

◆なぜ年忌法要が大切なの？

私たちは一人ひとりが数知れぬ
先祖の命を絆として、今を生きて
います。亡き人を憶う心に我が命
の深さをいただくことは命の深さ
に気づくこととなります。

真宗は、亡き人を供養するので
はなく、どこどこまでも亡き人を
諸仏さまといただき、日頃、生活
に追われて日暮らしをしている自
分に、赤信号がともり、年忌法要
を縁として、今までの生き方、こ
れからの生き方を阿弥陀仏のみ教
えに耳を傾け、亡き人の姿を偲び、
大切なことを見失っていた合掌の
心を取り戻すところに大切な意味
があります。

したがって、年忌法要は、生き
ている私になくてはならぬ仏事
（法事）であります。コロナ禍に
あっても、せめて家族、親族が集
いて親密なる出遇いをなさってほ
しいと願うばかりです。



◆月忌とは？

月忌は、亡き人の御命日にあた
る日を毎月、お内仏さまの前で手
が合わされる仏事をいいます。最
近、共働きが当たり前の生活様式
になりつつありますが、私を生み、
粉骨碎身のおもいで育ててくれた
亡き父・母の御命日を大切にす
ることは人としての温もりを回復す
ることに繋がります。
毎月の御命日を大事にしてほし
いと思います。

◆申経について

最近、月忌参りがなかなかでき
ないという事で、別院の晨朝
（おあさじ）の折に亡き人の御命
日にあわせて、「申経」をお願い
する方が増えつつあります。別院
といたしましても、本来ならばご
家庭のお内仏に向いてお勤めを
と思っておりますが、コロナ禍のた
め、お参りできない方には「申経」
をお受けしています。ご希望の方
は寺務所までご連絡ください。

告知

1月1日(金)～3日(日)
お墓参りされる皆様へ

◆墓地の開閉時間について

開門時間 6時30分
閉門時間 17時

◆参られる際には

- マスクの着用。
- 咳エチケットの配慮。
- 社会的距離の確保。
- 小まめな手洗い・消毒徹底。

◆お供えについて

○ お供えものはお供えされた当日にお持ち帰りいただきますようお願い致します。

◆駐車場について

○ 墓所周辺の道路は駐車禁止となっております、特にお正月期間は警察による取り締まりがございます。

別院講堂前駐車場が満車の場合は、南側の別院境内に駐車いただきますようお願い致します。

天満別院院議会議員

小糸 正洋



新年あけましておめでとございます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響により世界中で大変な年になってしまい、現在でも終息の見えない事態で、別院や、お墓参り、親族・身内に会いに行くことすら躊躇する状況に、皆様大変ご苦労されているかと思っております。

天満別院においても、御輪番、列座、職員の皆様の努力、各部署の皆様の協力のもと、規模を縮小しながらも、報恩講にお参りさせて頂き、大変ありがたく感謝しております。

令和三年、今年は延期となったオンラインピックも開催される予定で、少しは明るい話題が出来る事に期待しています。

天満別院でも、御輪番が就任当初より取り組んできた別院の教化事業や、様々なイベントが行われ、多くの人が集まる別院になるよう

新規墓地・合祀墓納骨のご案内

現在、別院では真宗の御門徒の墓地使用者を募集しています。



また別院の由緒を敬慕し崇敬護持に協力する門徒、及び信徒の墳墓として合祀墓がございます。多くの方々にご利用いただきたく御案内申し上げます。



儀式執行は別院職員が行います。墓地のお求め、納骨等詳しくは寺務所までご連絡ください。

皆様と共に協力して行きたいと思っております。

コロナ禍により、寺院への参拝方法が変化しつつありますが、一日でも早く皆様が別院に集まり、元気なお姿を見れるようお願いしております。

本年もよろしくお願い申し上げます。



本年もよろしく
お願い申し上げます

輪番	武宮 信勝
列座兼会計	山元 教悟
列座	出原 大乘
列座	堀河 実誓
書記	小坂 昌子
嘱託	山名 彰英
墓地職員	矢裂 隆司
墓地職員	黒田 直樹

仏前結婚式のご案内

天満別院では仏前結婚式を随時受付しております。

浄土真宗の結婚式は、御本尊の阿弥陀如来の尊前で、誠に深い因縁によって遇う事の出来たお二人が、その一生を共に生きていこうと誓いをたてあう厳粛な儀式です。



寺院関係の皆様だけでなく、ご門徒の方々の挙式も御遠慮なくお申し込みください。ご相談、下見等のお問い合わせは寺務所までご連絡ください。

告知

修正会(初詣り)

1月1日(金)

～3日(日)

8時より

ご法話 輪番 武宮 信勝

(※1日のみ)

※ 今年、献酒されたお屠蘇のおながれは控えていただきます。お勤めの後には、ご法話がございます。

ご家族揃って初詣りには、別院へお越しください。

△コロナ感染予防対策に

ご協力ください▽

- 検温・アルコール消毒。
- マスクの着用。
- 咳エチケットの配慮。
- 社会的距離の確保。
- 小まめな手洗い・消毒徹底。

新生児 初参りしませんか

赤ちゃんを授かったら、仏さまに感謝とご挨拶をしましょう。

初参りとは、古来より勤められてきた、生まれた子どもの初めてのお仏事です。時期などは決まっておられません。

別院では新生児初参りを受け付けています。ぜひご家族揃いでお参りください。

晨朝(おあさじ)に参りましょう

別院では、毎朝7時45分から本堂にてお勤めがあります。

お勤め本は別院で用意していますので、ご活用ください。

また土曜日、日曜日には職員による感謝があります。

感謝とは職員が日頃感じたことを10分程度でお話させていただくことです。

どなた様でもお参りいただけますので、一日の始まりをぜひ晨朝から始めてみませんか。

皆様のご参詣をお待ちしております。

副会長	小糸 正洋
会計	加藤 良三
会計監査	西松 薫
会計監査	上野 雄造

別院婦人部	幸田 眞須美
部長	傍島 恭子
副部長	林 綾子
副部長	佐藤 紘子
会計	根本 和子

教化委員会	辻澤 隆司
法要部会長	洲崎 善範
研修部会長	松井 聡
広報部会長	奥林 新
青年部会長	

墓地委員会	八十島 義郎
会長	谷 康司
	幸田 晴夫
	根本 卓
	松垣 吉彦

(敬称略)

法話を中止する時は、すでにご登録されている方にはご住所にハガキにて通知いたします。なお、郵送が間に合わない場合もありますので、開催当日は獅子吼の会のホームページで必ずご確認ください。

獅子吼の会
第17回 三夜連続法話の会

新型コロナウイルス
対策の上開催します

お寺の
掲示板より
～先人のことばに学ぶ～

当日法話をYouTube/facebookにてLIVE配信します。
詳しくは獅子吼の会ホームページにて！

HPのQRコード
獅子吼の会ホームページ
https://www.shishikunokai.com/
メールアドレス shishikunokai@gmail.com
事務局：大谷澤 隆 (電話) 05-6911-7686
会長：松井 恵 (心願寺)

2021年
1月19日(火) 19時・20時・21時
2月3日(水) 2時・3時・4時 6時～8時
難波別院(南御堂) 同朋会館講堂
入場無料



告知

獅子吼の会 第17回三夜連続法話の会

獅子吼の会では、左記の通り、法話の会が開催されます。万一、中止の可能性もございますので、開催当日には、獅子吼の会のホームページで必ずご確認ください。分からないことがございましたら、別院までお問い合わせください。



獅子吼の会ホームページ
http://www.shishikunokai.com/

<p>2月2日(火)</p> <p>「私に出会うということは私に背きつつける私に出会うということです」 龍波明則(美濃市・津島町)</p> <p>「悟といふはもてはなす事を知る事」 杉本 潤(徳島県・吉野町)</p> <p>「言葉で迷い 言葉で導く」 同時にご書で目録めく 上巻巻頭詞(北見市)</p> <p>「人は法を求めると同時に法に生かされることを忘れない」 松原智仁(徳島県・津島町)</p>	<p>1月19日(火)</p> <p>「自己とは何ぞや、これ人生の根本的問題なり」 竹中慈祥(徳島県・津島町)</p> <p>「これからのことを決める」 松井 恵(心願寺)</p> <p>「ものが轉るではありません ものをとらえる心に轉るのです」 菅田 昌(心願寺)</p> <p>「やり直しの意かない人生が良きこと」 黒川高樹(徳島県・津島町)</p>
<p>2月3日(水)</p> <p>「あいつはキライ これはダメ 僕はもうババのやうだ」 こいつはいいと切り替える 原田 隆(徳島県・津島町)</p> <p>「道徳を尊ぶ」 乙部大信(津島町)</p> <p>「天寿に安んじて人壽を待てる」 三好泰昭(徳島県・津島町)</p> <p>「念仏しなげら念仏から教えられる」 松井 恵(心願寺)</p>	<p>1月20日(木)</p> <p>「本物のものがわからないと本当でないものを本当にする」 宮部 夏(津島町)</p> <p>「汝、無量壽に導かれ、無量壽に導かれて無量壽を生きて」 菅田 昌(心願寺)</p> <p>「悟といふのは自覚である 悟られるというは無自覚である」 黒川高樹(徳島県・津島町)</p> <p>「苦を求め行にはその苦を生かしていく道を学ぶことです」 松原智仁(徳島県・津島町)</p>
<p>2月4日(木)</p> <p>「たとえ一生を終くても還らねばならないひとりの人がいる それは私自身」 松原智仁(徳島県・津島町)</p> <p>「縁起の正体は劣等感である」 小松 肇(徳島県・津島町)</p>	<p>1月21日(木)</p> <p>「一本の草さえ、生きねばならぬ命をもっている」 石谷宗忠(津島町)</p> <p>「その人を失った思ひの深さは生前にその人からわが身が受けていたに勝り大空を空かたに」 志紀正隆(津島町)</p> <p>「念仏とは自覚のはじめる事だ」 森 広樹(津島町)</p> <p>「行むとは行まれて来た事に気づき自覚すること」 山屋龍徳(津島町)</p>

ゲスト法話 九州教区徳蓮寺 前住職 伊藤 元 師
約50分

Q&A

修正会とは？



答え

修正会は、お寺でお正月に修される法会(法要)という意味です。数え年が一般的に使われていた頃は、誰もが元日に、1つ歳を足すことになっていました。皆、無事に歳を重ねられたことを祝う意味もあっての「あけましておめでとうございます」だったそうです。なにかそこにお互いのいのちの重さを感じとっていたのかもしれない。自分の父母、祖父母というように20代遡ると、計算では百万人近くの人とつながっているそうです。その一人ひとり、生涯たくさんのお会いの中に生きておられる(第13組 願乗寺 田中 寛子)

たことでしょうか。そう思うと、時代や場所を超えて、数えきれないのちの歴史の中に、今、私たちがいるといえます。木々の根が、見えない土の中で無数に広がり支えあっているように、私たちのいのちも、本当は私個人のものではなく、目には見えないけれど、共なるいのちとしてあるのだと思います。そして、今こだけで終わらないいのちを、私たちは生きているのではないのでしょうか。

『歎異抄』には「一切の有情は、みなもって世々生々の父母兄弟なり」とあります。とても広くてありたたく、共なるいのちを生きていくことはどうということなのかを、折々考えさせてくれる言葉を、人との出会いの中で、狭くても、ぬくもりのないあり方を私に問うてくるものこそ、いのち自身なのではないかと感じます。新年の始まりに、今、私の生きる歩みを確かめる場として、ご縁あるお寺におまじりいただけましたらと思います。

報告

指定特別永代経志納

- 一、法名 釋證豊
俗名 加藤 富士男
 - 二、法名 釋尼富美
俗名 加藤 ふみ
- 願人 加藤 良三

永代経懇志とは

「永代経懇志」とは、寺院が永代に渡ってお念仏のみ教えを伝えていく場所として護持することを目的として、人生を終えていかれた大切な方々の死やご自身をご縁として納めていただく懇志です。当別院では、毎月12日、春秋の彼岸に本堂で総永代経の読経をしています。永代経懇志を納めていただいた方に読経にお会いいただきご案内しております。一層のご理解とご賛同をお願い致します。

右記の通りご進納有難くご披露致します。

御修復完了



当別院の平盤は、鋳起技法を忠実に継承してきた「覚龍」のもので、今や全国でも稀な貴重なものです。伝統工芸の逸品とされています。

黄銅板を終始人力のみで、金鍍や金床等の道具を使い、焼鈍加工をしながら、根気よく打ち伸ばし鍛え上げていく伝統工法品です。平盤の生命はその音色にあり、音律の高低や波長を調整することを「鳴りを入れる」と言い、この音色を創製する作業が平盤づくりの最も苦心する処です。古来よりの伝統的な「鳴り」を引き出すには繊細な感性と永年に亘る修練が必要です。『覚龍』の平盤は代々の秘伝の技法が練磨された体験と体感の結晶です。この度、指定特別永代経志を預かり、仏間の平盤を修復させていただきました。大切に使用させていただきます。

2020年度 聖典講座

この度、天満別院に於いて、左記の通り1月から4月までの全4回、大阪教区教化委員会主催の聖典講座が開催されます。

聖典講座
【真宗学】2020年度

テーマ 『高僧和讃』に学ぶ
講師 古田 和弘 先生

全4回 参加無料

第1回 2021年 1月21日(木) 各回共に時間は
第2回 2021年 2月18日(木) 午後2時から
第3回 2021年 3月18日(木) 午後5時まで
第4回 2021年 4月22日(木)

※オンライン配信による受講も可能です。
ご希望の方は下記のメールアドレスへお問い合わせください。
E-mail: osakakaigoshinonanjy.or.jp (担当: 王来正家・秋野)

会場 真宗大谷派 天満別院
〒202-0044
大阪府北区東天満1-3-2
TEL: 06-5311-0100

1月 定例法話

定例法話では多彩な講師陣が分かりやすく真宗のみ教えをお話ししていただきます。1月は左記の通り開催致します。

日時 1月24日(日) 13時30分

場所 天満別院 本堂

御講師 第7組
長教寺住職 稲垣 洋信 師

講題 『悲』—自己を問う縁—

※ 例年、法話終了後には、婦人部の方々によるおぜんざいの接待がございましたが、今年度はコロナウイルス感染防止のため中止とさせていただきます。